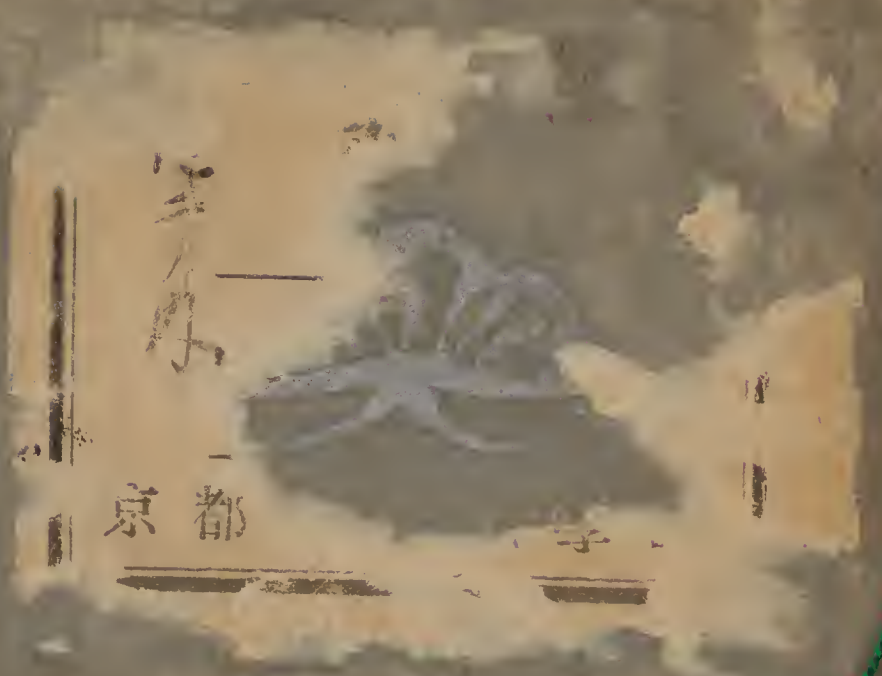
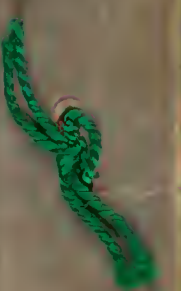


美術叢書



卷五十五



美術海第五十五卷 第九回 題冬水 目次

第一圖	一等賞	内田直吉	第十一圖	五等賞	中村秋甫
第二圖	二等賞	有元轍三郎	第十二圖	五等賞	八尾雀儼
第三圖	三等賞	木村踏雲	第十三圖	五等賞	松本米次郎
第四圖	四等賞	松村景春	第十四圖	五等賞	古谷雪山
第五圖	五等賞	益井文筠	第十五圖	五等賞	木村榮
第六圖	五等賞	山鹿健吉	第十六圖	五等賞	吉川雅橋
第七圖	五等賞	川崎龜三郎	第十七圖	五等賞	山本美匠館
第八圖	五等賞	吉川雅橋	第十八圖	五等賞	酒井三郎
第九圖	五等賞	有元轍三郎	第十九圖	五等賞	松村景春
第十圖	五等賞	大川紅崖	第二十圖	寄贈	秋月雅忠

減刊の辭

本誌美術海發刊以來、大に江湖の喝采を博し、其圖案應用者に資益する處實に尠なからず、既に積で五十五卷に達せり、然るに弊堂の業務益々進捗するに従ひ、發兌の雜誌書籍益々多く、既に定期雜誌には新畫苑、古畫苑、ちくさ等數種あり、來月三日よりは更に圖案専門の魁といふ雜誌を發刊することとなり、美術海とはいさゝか重複の傾むきあるを以て、此際美術海の發刊を減じて一年兩回となし、從來よりは更に圖案を多くし、殊に精撰を加へ以て發兌することなしたり、江湖の諸彦幸に此意を諒せられんことを、いさゝか書して減刊の辭となす

明治三十三年十月

芸艸堂主人 敬白



新刊披露

魁成舎編纂

魁

圖案雜誌
每月發行

魁發行の趣旨

(十一月三日第壹號發行)

一冊紙數小口十二枚每月一回
三日發行一冊正價金參拾錢郵
税金貳錢一ヶ年前金郵稅共金
參圓六拾錢

本邦の今昔名匠鉅工乏しからず而して其製出する所必ず圖案に依らざる事なし其考按たるや其工匠自ら之を企劃するものありと雖とも多く學識經驗に富むもの之が作意を與へ又柳營諸侯に於ては大率同朋の茶家に命じて作爲を按せしめて成りて後に工商に授け製せしむ乃ち現時の意匠家はなり故に工藝家手作上偶然成るものありと雖も多くは畸形にして偏僻の數奇に過ぎず汎く清賞となり實用に供せらるゝもの皆圖案に依らざるは無し今や文化屢々百物革新の時に中り新を競ひ美を争ひ遙に本邦の優雅を探りて各國の風習を需め以て之を應用せんと欲するは圖案を講習するに由るの外なし茲に感奮して各種の圖案を製し以て商工諸家の座右に備へ傍視顧眄の便に供せんとす是れ我舎員の偏見のみならず。有智なる意匠家を顧問に仰ぎ其思想考案を敲き或は訂正補綴を乞ふて之を編し以て例月發行して魁と號す乞ふ此舉を贊助し愛翫したまはん事を

魁發行所 魁成舎謹白 發賣所 山田芸艸堂

壹



貳



參



五

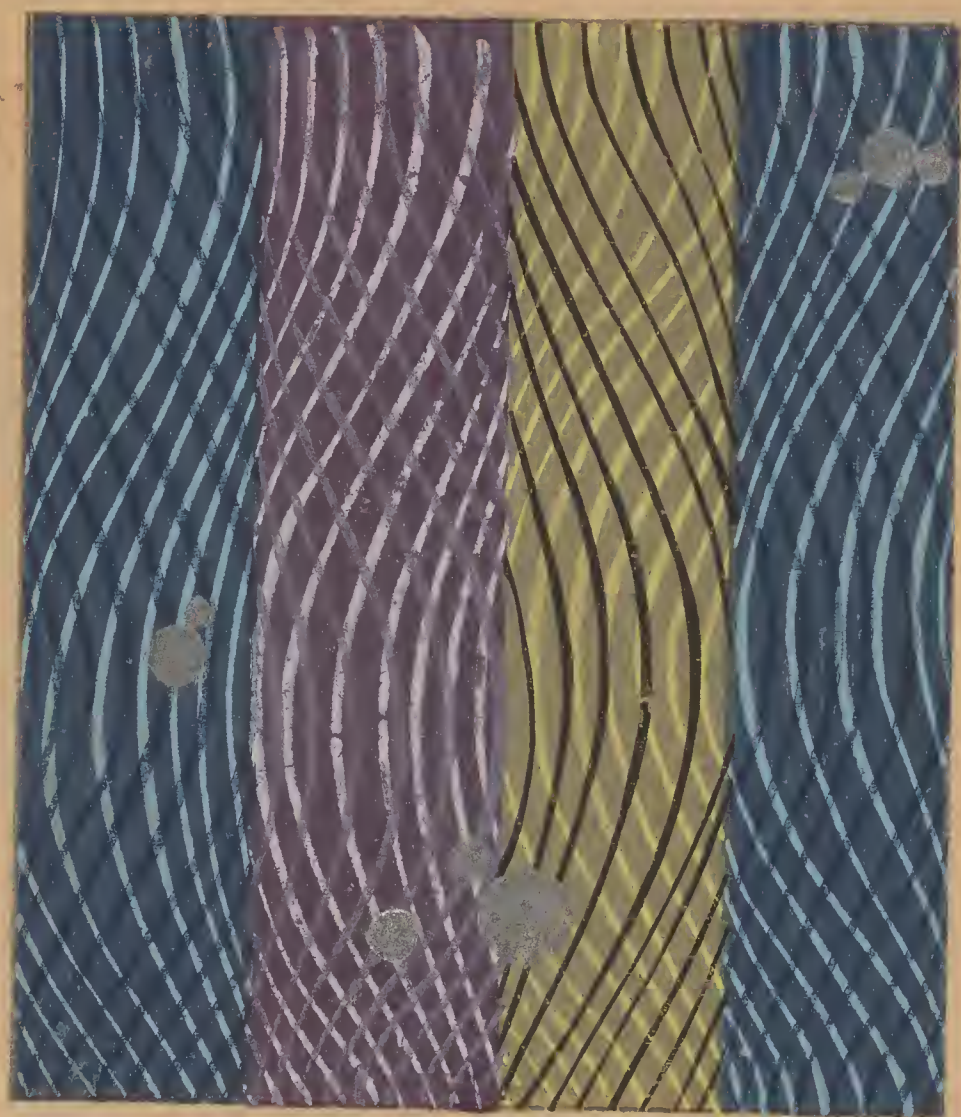


四















九十



八十





其書
影畫木像文

繪之寫



配送概則

- 一 毎月一回八日發行ノ事
- 一 定價二冊金參拾五錢六箇月豫約前金壹圓九拾五錢十二箇月豫約前金參圓六拾錢京都市外邊送郵税一冊ニ付金壹錢
- 一 前金領收セザレバ發送セズ
- 一 郵便為換ノ京都郵便電信局ハ丸太町取扱所振込ノ事
但シ郵券代用一割増尤モ二錢券ニ限ル
- 一 本誌ハ初卷ヨリ取揃アレバ何時ニテモ御注文ニ應スル

廣告料

一行二十五字詰金拾錢
一頁金五圓半頁金參圓

明治廿九年十月廿四日内務省許可

明治卅二年十月一日印刷

明治卅三年 月八日發行

定價金參拾錢

京都市上京區寺町通二條南入甲七番戶

編輯兼發行者

山田直三郎

印刷者 山中伊藏

京都市上京區寺町通二條南入書肆

發行所

山田芸艸堂



特 京都田中文求堂 東京 嵩山堂支店

約 大阪 青水嵩山堂 大倉書店

膏 松村文海堂 東陽堂支店

捌 赤志忠雅堂 畫報社

所 名屋片野東壁堂 東京堂

新刊廣告

小松宮殿下御題字

天年百鶴

(ふくさ模様)

本奉書 上卷出來 正價金壹圓五拾錢
極彩色摺 郵税金六錢

右ふくさ模様は海外天年畫伯の妙筆にして
世既に定評あり弊堂曩に同畫伯の衣服模様
羽織裏模様を發行し大に江湖の歡迎を博し
次に本書の出版を切望さるゝ向多きを以て
特に畫伯に請ひ天年百鶴を發行するととな
したりしが幸に 小松宮殿下より鶴のよは
ひの御題辭を拜領し著者並に弊堂の幸榮之
に過ぎず幸に一本を購ふて以て畫伯の津々
たる妙想妙筆を味ひ玉へ

美術海案第十二回 九月題
懸賞圖案 春松

賞與當選者

- | | | |
|-----|-------|------|
| 一等賞 | 松村景春 | 河原文翠 |
| 二等賞 | 旭徹齋 | 松村景春 |
| 三等賞 | 古田雪香 | 松村景春 |
| 四等賞 | 田中豐年 | 吉川雅橋 |
| 五等賞 | 藤井忠弘 | 内田直吉 |
| 同 | 藤井忠弘 | 山鹿健吉 |
| 群馬縣 | 有元轍三郎 | 中村秋甫 |
| | | 旭徹齋 |
| | | 木村踏雲 |

明治三十年七月十九日逓信省認可